
Contents

はじめに.....i

本書の使い方.....iii

Preliminary Lesson.....1

TOEIC® テストとは？

TOEIC® “5分の1テスト”

Part One “What is the TOEIC® TEST?”.....1

Part Two TOEIC® Mini-Test:

“Let’s beard the lion in his den!”.....6

Lesson One.....18

PART 1 写真描写問題（20問）

よく見てよく聞いてウォームアップ

Lesson Two.....38

PART 2 応答問題（30問）

聞くことだけに集中して

Lesson Three.....55

PART 3 会話文問題（30問）

聞き取って読み取って情報を3つ

Lesson Four.....74

PART 4 説明文問題（20問）

聞き取って読み取って情報収集と推測

Lesson Five.....94

PART 5 短文穴埋め問題 (40 問)

会話にも読解にも欠かせない文法語彙力：

Lesson Six.....116

PART 6 長文穴埋め問題 (12 問)

会話にも読解にも欠かせない：文構造と文脈理解力

Lesson Seven.....133

PART 7 読解問題 (40 問)

速読力をつけて情報の収集と推測・類推

Practice Test.....167

模擬テスト

英語力自己確認の目安 正答率を計算しよう

ANSWER SHEETS.....211

はじめに

この教科書は TOEIC® テスト専用授業のためのものです。従来の教科書は、授業の始めや終わりで TOEIC テスト練習問題を用いて、コミュニケーションの擬似実践ができるように作られた補助教材的な性格のものばかりでした。本書は、TOEIC テストに真っ向から立ち向かい、テストのみならず英語でのコミュニケーション実践の手がかりになり、実践意欲を作り出すことを目的にしています。手っ取り早く言えば、まず、コミュニケーション実践の基礎体力を作る手段としての TOEIC テストに立ち向えるように、テスト自体への対処の仕方、そして、コミュニケーション実践の前哨戦に耐えることを学び取る、こうしたことを目的としています。

コミュニケーションとは人と人との間で行われる、あくまでも人間的な行為であり、それは実生活のさまざまな諸側面で相手の頭脳環境や情的環境に深くはいつて行く手段として考えます。それはキャッチボールにたとえられます。キャッチボールでは、相手が投げたボールを真正面ですっぽりと受け止めることができれば上手な遊びになります。受け止めたボールを投げ返して同じことが起これば、なお上手です。しかし、投げられたボールは上下左右に幅を持って相手に届けられることもしばしばです。受け手は上下左右に手や体全体を動かさなければなりません。ときには、はずして受け取れない場合もあります。実際のコミュニケーションはそれを主にことばで行います。ことばのボールは真正面に届くことも上下左右に幅を持って届くこともあります。コミュニケーションはそうしたことばの誤差が自由に存在する行為であり、誤差内にことばが納まればコミュニケーションは成立します。誤差があることがコミュニケーションの味だったり粋だったりすることさえあります。しかし、ことばが相手に届かなかつたら、相手が受け止められなかつたらコミュニケーションは起こり得ません。TOEIC テストは、英語ということばを使ってコミュニケーションを成り立たせる一線を見極める可能性を示す道具になります。

そうです。TOEIC テストはコミュニケーションができるようになるために受験するものではありません。もっとも、受験勉強によって基礎体力をつける手段に用いることは可能です。ですが、それがすべてではありません。また、そうであってはいけません。先ほど申しましたコミュニケーション成立を見る一線、それを上回るコミュニケーションの可能性の指標を英語の側面から知るために TOEIC テストはあります。日頃からのコミュニケーション実践（読む・書く・聞く・話す）の積み重ねを行った成果として、コミュニケーション成立のどの程度に私はいらるのだろうか？という疑問に答えを得、その力の自己確認をして、あらたにコミュニケーション能力養成の戦略や戦術、作戦を立てることに TOEIC テストを利用します。

出鼻をくじくようですが、TOEIC テストは決して生易しいテストではありません。テストでは擬似の生の素材を用いますから、口に合わないことも好みに合わないことも十分にありえます。しかし、励んで慣れるよりほかありません。初め口に合わない食べ物も、やだ、食べたくないと思っ

ても、意を決して少しずつ口に入れて行けば、それはそれなりの味を知ることになり、習慣が形成され、次第に違和感や嫌悪感が薄らいで行くことは私たちが日頃から経験することです。英語の勉強を、あせらず、あきらめず、あくまでも、続ければ TOEIC テストはきちんとした判断を下してくれます。客観テストとしての TOEIC テストの信憑性はそこにあります。生易しくないものも御しがたい領域から退散します。具体的に言えば、機関銃から出てくる慣れない速い英語の聴解力と、できるだけ和訳を排除して少しでも英語を英語で理解するだけの読解力がじわりじわりとついて行きます。分からなかったものが分かるようになる——それは喜びです。

筆者もその長い道のりを辿ってきました。いまだに満足な英語のコミュニケーションをしたという実感はありませんが、英語を媒体としたコミュニケーションによって自分と人とがつながることができた喜びは折々に経験してきました。おかげで、外国に友人と呼べる人間関係を得ることもできました。心を開ける友を得られることこそ喜びです。Nice to meet you. と空気振動を媒体にして相手に届いた幼い喜びから、冷や汗をかきかき、仕事上の協議や交渉をして成果が得られたときの喜びまで、さまざまな段階での喜びがあります。

TOEIC テストがこうした喜びのための基礎体力作りに貢献してくれば、そして、この教科書がそこに到る扉を開き、道をつけて行くのなら、その使命と目標は達成されたと考えます。そうした教科書制作に声援を送り、手を貸してくださった人々がいなければ、この教科書は生まれることはなかったでしょう。あまり多いのでお一人お一人の名前を上げられないご無礼はお許し願えると確信して、その方々にここで深く感謝いたします。しかし、以下の方々のお名前はここに記す必要があります。

この教科書は三代目になります。歴史を見ると三代目はお家の繁栄か没落かの分岐点になってきたことが多いようですが、三代目を産みだすまでにご尽力をいただいた成美堂社長の佐野英一郎氏、編集をずっと手がけていただいた田村栄一氏、そして穴戸貢氏とは、豊穠なコミュニケーションがありました。それは、三代目を産みだすための指導であったり、激しい議論であったりしました。まさしく、コミュニケーションがなかったらここまでは辿りついてはいません。深く、深く感謝いたします。最後になりましたが、TOEIC テストは音声抜きには成り立ちません。そのために美しい英語で問題を朗読してくださったナレーターの方々、ずたずたの音源を美しい流れにしてくださった誠音社の録音技師・ミクサーの染谷正博氏にも感謝いたします。

2006年9月 M. M. 記す

シラバス作成のモデルとしてお役立て下さい。

週	授業項目	課外学習
第1週	1. この授業について(目的・目標・評価) 2. Preliminary Lesson: Part One 3. Part Two	・ Word Book Preliminary Lesson の復習と Lesson One の予習 ・ 課題ノート Week 1
第2週	1. 前回の復習・5-Minute Vocabulary Test 1 2. Lesson One: PART 1「写真描写問題」(10問)~Exercise	・ Lesson One の Mini-Test ・ Word Book Lesson One の復習と Lesson Two の予習 ・ 課題ノート Week 2 ・ PART 1 Exercise の復習
第3週	*できれば、PART 1 の Exercise から5問小テスト 1. Lesson One の Mini-Test の答え合わせ 2. PART 1 の復習・5-Minute Vocabulary Test 2 3. Lesson Two: PART 2「応答問題」(30問) ~Try and See Again	・ Word Book Lesson Two の復習 ・ 課題ノート Week 3
第4週	1. PART 2 の復習・5-minute Vocabulary Test 3 2. Lesson Two: PART 2 ~Mini-Test	・ Word Book Lesson Three の予習 ・ 課題ノート Week 4 ・ Lesson Three の Vocabulary Check の空欄を埋める ・ PART 2 Exercise の復習
第5週	*できれば、PART 2 の Exercise から10問小テスト 1. 5-Minute Vocabulary Test 4 2. Lesson Three: PART 3「会話問題」(30問)~Exercise	・ Word Book Lesson Three の復習と Lesson Four の予習 ・ 課題ノート Week 5 ・ Lesson Three の Mini-Test ・ Lesson Four の VC 空欄を埋める ・ PART 3 Exercise の復習
第6週	*できれば、PART 3 の Exercise から10問小テスト 1. PART 3 の復習・5-minute Vocabulary Test 5 2. Lesson Four: PART 4「説明文問題」(30問) ~Try and See Again	・ Word Book Lesson Four の予習 ・ 課題ノート Week 6 ・ Lesson Four の Mini-Test
第7週	1. PART 4 の復習・5-minute Vocabulary Test 6 2. Lesson Four: PART 4「説明文問題」(30問)~Exercise 3. 時間調整	・ Word Book Lesson Four の復習と Practice Test Listening 相当 の予習 ・ 課題ノート Week 7 ・ PART 4 Exercise の復習

第 8 週 *できれば、PART 4 の Exercise から 10 問小テスト

- 1. 5-minute Vocabulary Test 7
- 2. Practice Test のリスニングテスト

・ Word Book Practice Test Listening 相当の復習と Lesson Five の予習

- ・ 課題ノート Week 8
- ・ Lesson Five の VC の空欄を埋める

第 9 週 1. 5-minute Vocabulary Test 8

- 2. Lesson Five: PART 5 「短文穴埋め問題」(40 問)
- ~Try and See Again

・ Word Book Lesson Five の復習と Lesson Six の予習

- ・ 課題ノート Week 9
- ・ Lesson Six の VC の空欄を埋める

第 10 週 1. PART 5 の復習・5-minute Vocabulary Test 9

- 2. Lesson Five: PART 5 「短文穴埋め問題」(40 問) Exercise
- 3. Lesson Six: PART 6 「長文穴埋め問題」(12 問)
- ~Try and See

・ Word Book Lesson Six の復習と Lesson Seven の予習

- ・ 課題ノート Week 10
- ・ Lesson Five の Mini-Test
- ・ PART 5 Exercise の復習
- ・ Lesson Seven の VC の空欄を埋める

第 11 週 *できれば、PART 5 の Exercise から 10 問小テスト

- 1. 5-minute Vocabulary Test 10
- 2. Lesson Six: PART 6 「長文穴埋め問題」(12 問)
- ~Exercise
- 3. Lesson Seven: PART 7 「読解問題」(48 問)
- ~Try and See

・ Word Book Lesson Seven の復習

- ・ PART 6 Exercise の復習

* 課題ノートが終わった現在、これからのノートの利用法をプリントで指導

第 12 週 *できれば、PART 6 の Exercise から 4 問(1課題分)小テスト

- 1. 5-minute Vocabulary Test 11
- 2. Lesson Seven: PART 7 「読解問題」(48 問) ~Try and See Again
- 3. Lesson Seven: Mini-Test

・ Word Book Lesson Seven の復習と Practice Test Reading Test 相当分の予習

第 13 週 1. PART 7 の復習・5-minute Vocabulary Test 12

- 2. Lesson Seven: PART 7 「読解問題」(48 問) Exercise

・ Word Book Lesson Seven の復習と Practice Test Reading Test 相当分の予習

第 14 週 Practice Test のリーディングテスト

* この週に授業ができなければここは課題にしてよい。フィードバック。

第 15 週 予備

Real English Sounds

With Self Study CD Disk 1-06, 07

□ つながって聞こえる音

意味の区切れがなければ、ふつう語と語はつながって聞こえてきます。これをliaison(リエゾン)といいます。この現象があるので、1分間に150語以上の語数で話すことができるのです。まず、下の会話が普通に発話されるのを聞いてみましょう。

Thanks a lot. — Not at all.

What's up? — Oh, I'm taking it easy.

今度は、1語1語言ってもらいます。

もう一度普通に発話してもらいます。どの語とどの語がつながっているのか。つながって聞こえる箇所を でつないでください。

Thanks a lot. — Not at all.

What's up? — Oh, I'm taking it easy.

ポイント

子音で終わる語と母音で始まる語は、つながって聞こえてくる。[—子音+母音—]という現象が話し言葉では起こる。

[練習] つながって聞こえる箇所を でつないでください。

1. How long has it been? — For at least an hour.
2. All of the Central Avenue buses go past the old arcade.
3. Can you come at eight o'clock?
4. Did you call in advance? — No, I didn't. I've just arrived in town.
5. The men in the kayaks are rowing closer to one another.

Vocabulary Check

A. 下の枠囲いの単語に関して下の表を完成させなさい。

completely
decision
describe
development
exhausted
inconvenient
recognize
select

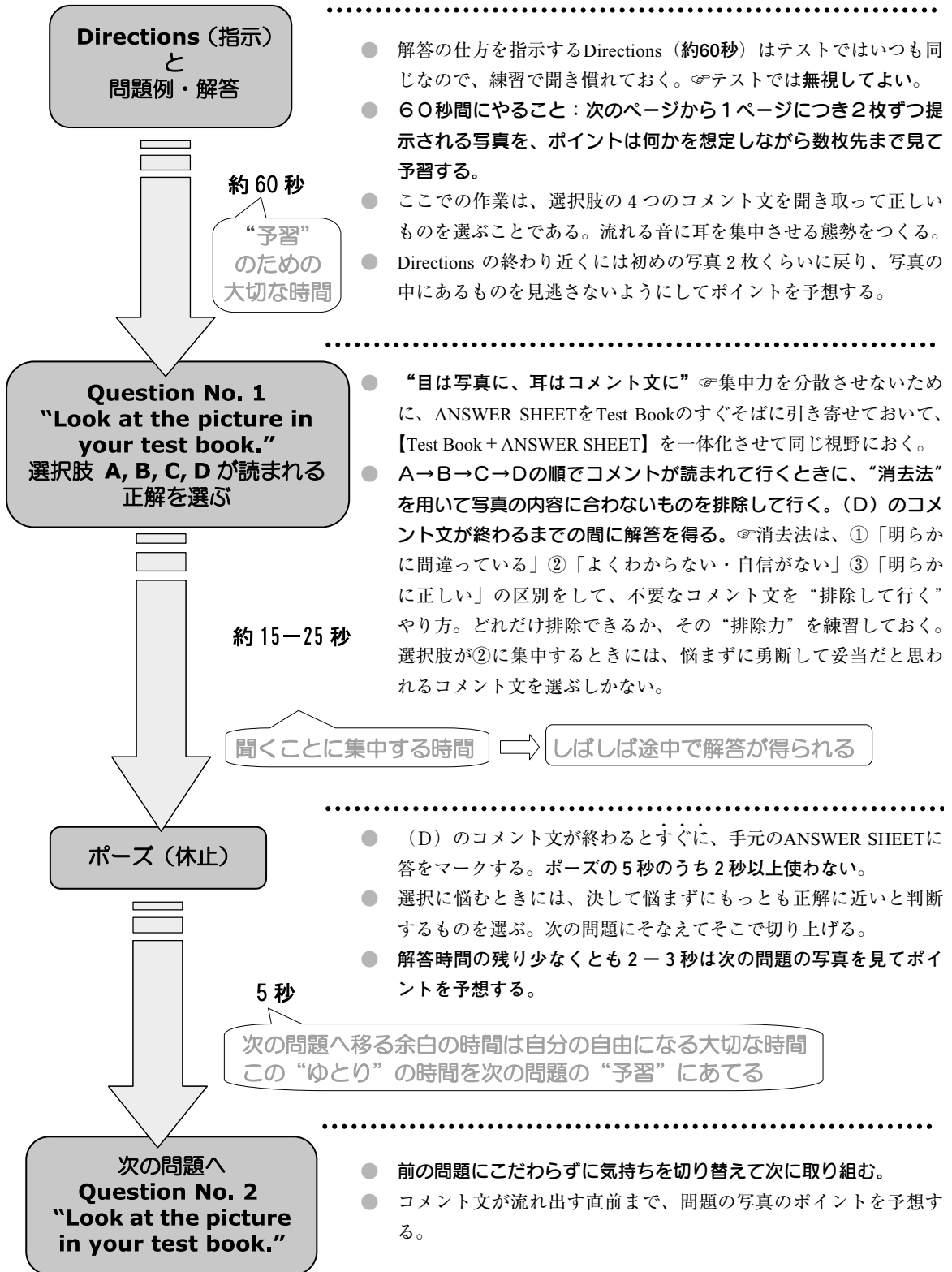
動詞の意味	動詞	名詞	形容詞・副詞
			complete・completely
		decision	
	describe		
		development	
			exhausted
			inconvenient
	recognize		
	select		

B. 下の枠囲いの決まり文句を入れて下の文を完成させなさい。

at first
look for
get in touch (with)
on behalf of
hear from
look after
keep up with
get around

1. (), we plan to visit two or three times a year for short vacations.
2. You may also need to find someone to () it when you're away.
3. It was great to () you.
4. Here to () the award on behalf of Norton Baker is Cost Manager James Chan.
5. It's also very easy to ().
6. We cannot () the production of the new item.
7. Are you () a state-of-the-art conference facilities?
8. Please feel free to () any time if you have any more questions.

Tips for Controlling the Given Time



解答の手順がわかったなら、まず、練習問題をやってみましょう。解答には「消去法」を用いて、①「明らかに間違っている」②「よくわからない・自信がない」③「明らかに正しい」の区別をしてください。③が得られたときには素早く解答してください。②に集中したら、より妥当だと判断するものを答えてください。



(A) (B) (C) (D)



(A) (B) (C) (D)

Key to Successful Communication



- アルバムや、テレビのニュース番組、スポーツ、イベントの実況中継を見ていると、想定しましょう。そこであなたが見ているものは“だれが何をしているのか”、“だれが何をしたか（だからこういう情景が生まれた）”、“何が起きているのか”、“何が起こったのか”、“だれがどこにいるのか”、“何がどこにあるのか”などです。
- あなたがそこで行っているコミュニケーション活動は、アルバムの1枚の写真、ニュースや実況中継の1シーンの解説を絵の中の出来事や状態と一致させることです。たとえば、記念写真を見ながら、そこに写っている人物だったり、人物ではなく、背後の建物の窓が開いていたことを知らされることもあります。あなたが使う言葉ではなく、相手が使う独特な言葉で説明を受けることもあります。たとえば、あなたの言葉では「椅子」を動かしているシーンであるのに、相手は「家具」を動かしているシーンだと言うこともあります。
- 相手があなたに見て欲しいと英語で語りかけているものを聞き取って相手の要求を満たし、適確な情報を相手から得ることが、この「写真描写」問題でのコミュニケーション活動です。
- 写真が情報獲得の補助となるのですが、自分勝手な見方をすると相手の伝えたい情報をキャッチできなくて、一方通行で終わることがあります。“一方通行”であるかぎり、もはや、communicationとは呼べません。“communication”には common（共通の、共同の）の意味が含まれています。

1. 写真の内容：生活の全般にわたることが描写される

生活全般の描写の中には、学習者にとって異文化描写であることもあります。したがってそうした場合、初めて目にする風物が提示されます。

1) 人物を描く

- 何の動作をしているのか：仕事をしている、何かをして楽しんでいるなど
- どんな人物か：子供、老人、仕事をしている人など
- どのような場所にいるのか⇨前置詞に注意
- 人物のいる場所の状況はどうか：天候、時刻、催し物、市（場）など
- どの人物のことか、その特徴は：顔の特徴、服装、身に付けている物、特別な感情など
- 2人以上のときの人物の動作・状態やお互いの動作内容の関係など

2) 物を描く

- その物は何か、何があるのか、人がいればその人と関わりがあるのか
- ある場所はどこか⇒前置詞に注意
- 材質は何か、どんな形か、どういう状態か
- その物：たとえば、自転車、車、船、飛行機などは、どこをどう動いているのか、止まっているか

3) 風景を描く

- 全体的な風景か、風景中の特定の何かに注目しているのか
- どういう場所か、人がいればその人と関わりがあるのか
- その中では何かの動き（活動）があるのか
- 前景に注目しているのか、背景に注目しているのか

2. コミュニケーションに使われる英語

A. 文の「主部」と「述部」を聞き分ける ⇐ ここでは、文は主部と述部からなることを学びます。

1) 主部：「主語」は文のトピックとなる。中心の言葉は「名詞（代名詞）」

ポイント コメント文の冒頭に提示される主語が、写真に描写されているものの中のどれ・どこに視点を定めればよいかを示します。

2) 述部：トピックの展開部、中心の言葉は「動詞」

ポイント 主語の後に続くのは、述語動詞が中心となって示す、主語の動作や状態です。視点を定める対象を特定したらすぐに次は、その対象がどういう動作を行っているのか、どういう状態なのか、を特定してください。

B. 写真の中の主語の動作や状態は、写真中の「現在」なので、原則として“現在形”が用いられます。

1) 単純現在形

➤ 状態を表す

Trees **grow** on one side of the path. (通り道の片側には木が生えている)

➤ be-動詞（+形容詞／前置詞）で状態や場所を表す。

It's *stormy* today. (きょうは風がとても強い、嵐である)

The mountains **are** *close to* the water. (山は水際まで迫っている)

The ladder **is** *beside* the truck. (トラックの横にはしごはある)

The fire truck **is** parked *in front of* the building. (消防車は建物の前に止まっている)

➤ 動作へ移る直前のことを表すこともある。

be about to (do...); **be going to** (do...) などの表現形がときおり用いられる。

➤ “There構文”（人物や物を導入する構文）

There is/are で、人や物が写真の中にあることを表す。また、前置詞との組み合わせでその人や物が、ある特定の場所にあることを表す。

There are many stars. (星がたくさん出ている)

There are buildings *on* the pier. (防波堤に面して建物が建っている)

There is a door *at* the top of the stairs. (階段を昇ったところに扉がある)

2) 現在進行形：is/are ...ing

➤ 進行中の動作を表す

They're **moving** furniture. (彼らは家具を動かしている)

➤ 状態を表す。

She **is wearing** a hat. (かぶっている状態) cf. She **is putting on** a hat. (かぶりかけている動作)

People **are sitting** on the sidewalk. (みんなは歩道に座っている)

3) 現在完了形：have/has p.p.

- ある動作が完了したさまを表す。

The boy **has kicked** the ball. (少年はボールを蹴ったところである)

➤ ある動作の結果の状態を表す。

Books **have fallen** over. (本の山がぐずれ落ちてしまっている)

C. 受け身(受動態)が“現在形”の中で多用されます。

ポイント 以下の動詞の形の区別をしてください。数学の公式のようにして覚えておくことが重要です。動詞の形の区別が意味の区別を作るのです。

1) 単純現在形 is/are p.p. : 状態を表す。

2) 進行形 is/are being p.p. : 進行中を表す。being は [bi:iŋ] と強く発音される。

3) 完了形 have/has been p.p. : 完了したさま、その結果を表す。been は [bin] と弱く発音される。

ポイント 受け身まで含めて、それぞれの動作や状態の姿を表すときの動詞の形を学習しておく必要があります。

ポイント 受け身の進行形と完了形は聞き取りがまぎらわしいので注意してください。上に述べるように、進行形では being は [bi:iŋ] とはっきりと発音され、完了形では been は [bin] と軽く発音されます。

The towel's *being washed*. (タオルは洗濯されているところである)

The towel's *been washed*. (タオルは洗濯されたところである)

D. “場所”を表す前置詞が多用されます。

ポイント be-動詞や“There-構文”では、前置詞が多用されます。場所を表す前置詞の意味を学習しておくことが必要です。

F. 注意をそらすもの (distractors) : まぎらわしい意味と発音を持つ語、予想しない視点の要求があります。

1) まぎらわしい意味を持つ : 背景、物の位置、表情、別人を指すなど、予想して注意を集中させているものから“はぐらかして”解答をまどわすことがある。

➤ 視点を中心からはぐらかして背景へ、別の物の位置へ、局所的な表情へ、別人へなど向けさせる。

➤ 特定の語を総称的な語へ言い換える : chair を furniture へ、gift/present を object へなど。

2) まぎらわしい発音の語を持つ

➤ よく似た音 : race [reis] と raise [reiz], writing と biting など。

➤ 同じ音が含まれ意味が異なる : classroom と bedroom の“-room”で戸惑わせる。

➤ 同じ語で用法や意味が異なる : to cash the check と to check the cash で品詞を変える。

このPARTとうまく付き合うために

■ コメント文の意味

* 「～が～している」「～が～されている」多くは進行形(能動態と受動態)

* 「～が～したところだ」「～が～されたところだ」多くは完了形(能動態と受動態)

* 「～が(～に)ある・いる」The ... is/are + on/in/under/over... などの場所を表す前置詞

There is/are... (場所を示す表現を伴うこともある)

* 「～は～である(状態)」is/are + 形容詞(叙述用法)

■ 主語と述部をしっかりと聞き分ける。主語が同じときには述部の違いに注意する。

■ コメント文は主に現在形なので、現在形に含まれる「現在進行形」「現在完了形」の動詞の型を理解する。

■ コメント文には受け身がしばしば用いられる。受動態の基本形を踏まえた上で、受け身の「現在進行形」と受け身の「現在完了形」の型を理解する。

■ 前置詞の意味を覚える(位置を表すので重要)。

■ Distractors : はぐらかし、ひっかけの意味や発音、一般的に予想される視点からそらすことに注意する。

「写真描写問題」は本格的なリスニングテストのウォームアップ問題です。写真は白黒で本番のテストでは1ページに2枚あります。写真を見ないでコメント文だけで頭に映像が浮かぶようになればとても簡単な問題だと言えます。

写真の右側のヒントを利用してこの問題に慣れてください。集中のためのウォームアップです。



主語

述部

(A) (B) (C) (D)

動詞抜きコメント文を読んで問題の写真と比べましょう。

- (A) The girl ----- a jacket.
- (B) The girl ----- the bucket.
- (C) The girl ----- the racket.
- (D) The girl ----- the ball.

4つのコメント文の主語がみな同じで、視点を変えないですむので取組みやすい問題です。

- ✓ 主語は写真の焦点となる。コメント文の主語が指示するものに注目する。ここではすべて the girl である。
- ✓ the girl の動作に目をつける——述部の内容がわかればよい。つまり、上の ----- 以下に注目する。
- ✓ 写真では、飛んできたテニスボールを「打とう」としているところである。
- ✓ swinging が聞き取れなければ、テニスから連想して racket が聞き取れればよい。
- ✓ (A)(B)(C)には“-a/ucket”という distractor がある。



(A) (B) (C) (D)

コメント文の主語だけを提示します。それによって、まず、何に注目すべきかがわかります。異なる主語が3つあるのであたらしい問題です。ただし、問題の意図は主語とは別のところにあります。

- (A) The man (B) The man
- (C) The woman (D) The baby

- ✓ 主語がどうした？(述語)というのが問題。
- ✓ 主語が異なり、それぞれの主語に伴う述語もすべて異なる問題は解答のための労力が大きい。
- ✓ ここでは、コメント文中の単語に似た音があるので、それにまどわされる可能性がある。述語の中に、(A) scolding (B) holding (C) cold が含まれている。

3.



(A) (B) (C) (D)

コメント文の焦点は何にあるのかを以下に示します。この問題は典型的な“意味”のはぐらかしの（予期しない視点の要請）(distracting) 問題です。

- (A) 男性のいる位置
- (B) 男性の状態
- (C) すぐにわかる男性の動作
- (D) すぐにはわかりにくい男性の動作

- ✓ 「男性」に焦点があることは上のコメント文から分かる。
- ✓ 上のヒントから、男性の「位置」、「状態」、「動作」のうち、どれに着目すればよいか。
- ✓ わかりやすい順、すなわち着目しやすい順に言えばこの写真では、「動作」→「状態」（顔の表情を見ればよい）→「位置」のようである。
- ✓ 音声以外の distractor は普通なら着目しないところを突いてくる。

4.



(A) (B) (C) (D)

写真には特に目をひくものがないので、どこに着目したらよいかすぐにはわかりません。それだけにあり得ないことがコメント文で描写されます。あり得ないことを消去して行きましょう。答えても、不安が残る問題です。こうした問題でも、(D)の終わりで決着を付け、長々とこだわらずに気持ちを切り替えて次の問題に臨むべきです。

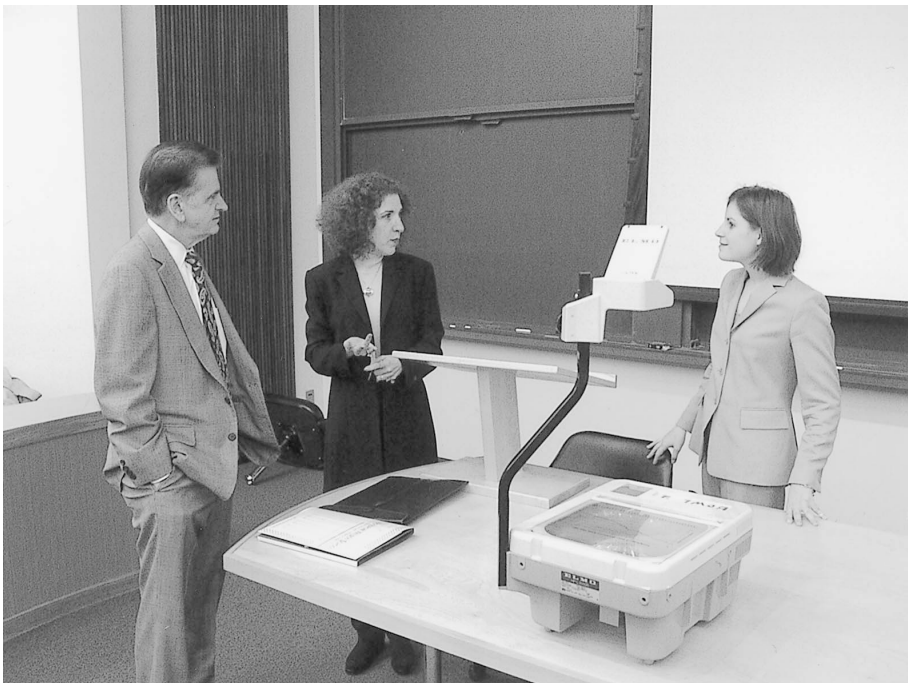
- ✓ コメント文の主語と述語を聞き取る。
- ✓ 4つのコメント文の主語・述語がすべて異なるので、解答に大変あわただしい問題である。
- ✓ コメント文中で次の表現が聞き取れるか。
 - (A) crowded (B) standing
 - (C) tables (D) in front of

PART 1 写真描写問題**LISTENING TEST**

In the Listening test, you will be asked to demonstrate how well you understand spoken English. The entire Listening test will last approximately 45 minutes. There are four parts, and directions are given for each part. You must mark your answers on the separate answer sheet. Do not write your answers in the test book.

PART 1

Directions: For each question in this part, you will hear four statements about a picture in your test book. When you hear the statements, you must select the one statement that best describes what you see in the picture. Then find the number of the question on your answer sheet and mark your answer. The statements will not be printed in your test book and will be spoken only one time.

Sample Answer A B C D**Example**

Statement (C), "They're standing near the table," is the best description of the picture, so you should select answer (C) and mark it on your answer sheet.

1.



2.



3.



4.



5.



6.



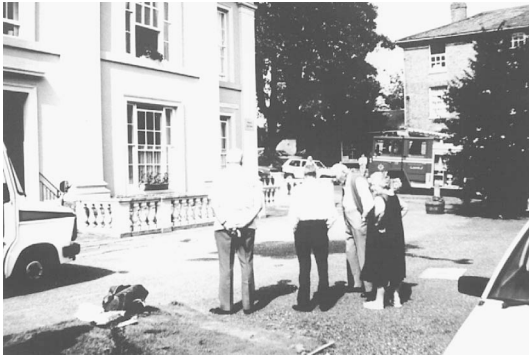
7.



8.



9.



10.



Mini-Test

この Lesson で学んだ PART 1 以外の PARTS からの問題練習をします。TOEICテスト全体を見失わないための練習です。

ポイント を手がかりに答えてください。Lesson 中で本格的に学習した PART は、以後のミニテストでは、原則として **ポイント** は提示しません。

PART 2

 Disk 1-09

PART 2 は、問われた質問に対して“妥当な応答を選ぶ”問題です。質問文も応答文も Test Book には印刷されていません。聞き取りのみに集中してください。

ほとんどの場合、質問文の冒頭の 1 語で疑問文の種類がわかります。① 6W1H (Who, What, Which, When, Where, Why, How) の疑問文への応答は、その疑問詞に対するほとんど直接的な答ですが、② ① Yes/No 疑問文 (付加疑問文も含む) への応答は、Yes か No か、② A or B? では、A か B かで、どちらの疑問文も、もともと 2 者択一でしかないので、3 者択一の応答形式にはどうしても 1 つ余分な選択肢をつけなければなりません。その分だけ応答が間接的になったりすることがあります。間接的に言ったり、付加的に言った情報のほうが正しい応答であることがしばしばあります。**ポイント** をまず読んでください。

17. Mark your answer on your answer sheet.

ポイント 疑問詞 which は、what flight と同様にその後名詞が来ることが多い。後に来る名詞が何かを聞き逃さないようにする。応答は名詞に対応する特定のものとなる。which flight のときには、特定の応答、AC001 や、the 8 o'clock Air Canada などがある。

18. Mark your answer on your answer sheet.

ポイント Yes/No 疑問文への応答は必ずしも Yes/No で始まらない。選択肢にある応答文は質問文と同じ語が違う意味に使われて“はぐらかし (distractor)”がある——発音から連想される言葉や似た発音・同じ発音の言葉が答にあるときには、それを解答とするのは回避したほうがよい。質問文の tired に対して、応答文には fired, tried などの distractors がある。また、否定疑問文の答え方は慣れないとむずかしい。例) Isn't she happy? (幸せじゃないの) —Yes, she is. (いえ、幸せですよ) / No, she isn't. (ええ、幸せじゃないんです)

19. Mark your answer on your answer sheet.

ポイント --- umbrella ...? の質問文の冒頭の疑問詞は何か。これが聞き取れれば、問題としてはもっともやさしい部類に属する。

PART 3

 Disk 1-10

PART 3 からは大変忙しくなります。放送から流れてくる 2 人 (A, B) の会話 (A⇒B⇒A⇒B のパターンが多い) を聞いたのち、それに対して Test Book には、設問が 3 つ用意されています。設問には選択肢が 4 つあり、その中から 1 つ正解を得なければなりません。

まず、設問・選択肢にさっと目を通しましょう。少なくとも何が問われているかがわかった上で、会話を聞く時間を探し出してください。設問の音声は流れて来ます。それに従って順序よく答えても構いませんし、設問の音声を無視して自分のペースで先に進んでも構いません。後者の方が時間的なゆとりができます。この PART からは速読力がようになってきます。それでももっと大切なことは、設問文と選択肢の意味が理解できることです。この理解なしには、コミュニケーションはさっぱり進みません。まるで“とんちんかん”になります。

少し時間をおきますから、まず、53-55 の設問 (と選択肢) にさっと目を通してごく大まかな設問のポイントをつかんでください (これをスキムする・skim と言います)。それから **ポイント** にも目を通してください。どこを聞けばよいか分かります。

53. What does the man want the woman to do?

- (A) Arrange an important company event
- (B) Think of some new ideas
- (C) Accompany him to an event
- (D) Pick up some clients at the airport

ポイント 設問に the man とあるので、男性の発話に気をつける。会話の流れ（ポイント）がそのまま55までの設問になっている。かなり初めのほうにこの設問答えは隠れていると考えられる。会話問題では、最初の発話を決して聞き逃してはいけない。

54. Why is the woman unable to do what the man wants?

- (A) She has too many other tasks in the office.
- (B) She is taking a holiday on that day.
- (C) She is going to resign from the company.
- (D) She is sick.

ポイント ここでは、女性の事情を尋ねているので、その事情は the woman から発話される。男性の要請になぜ応えられないと女性は言っているのか。設問文では会話の中で、take the 5th of next month off (take ... offは「……に休暇を取る」という決まり文句) とあるのをどのように言い換えているか⇒ []。こうした言い換えはPART 4にもPART 7にも出てくる。

55. What does the woman suggest the man should do?

- (A) Go on his own
- (B) Go on a different day
- (C) Cancel his plans
- (D) Choose a different person

ポイント これも女性の発話から求めなければならない。会話では someone else (... instead of me) と言っているが、選択肢では言い換えられている⇒ []。

PART 4

 Disk 1-11

1人が何かについて語ったり、説明したりする内容を聞き取って、それについて3問の設問があるのがこのPARTの形式です。説明文全体が発話される前に設問やその選択肢を先に読んでおいて、話のおおまかなところを察しておくことがこのPARTにうまく答えられる秘訣です。設問文は読み上げられるので、それを聞きながら答えることもできますが、それを無視して先へ進んで答えても構いません。設問によっては細かい情報を尋ねることがあり、聞き逃してしまうことが多々あるので、設問（・選択肢）の先読みは避けて通ることはできないと言えます。

ポイント をまず読んでください。何を聞き取ることが要求されているのかがわかります。

77. What is the speaker doing?

- (A) Presenting the “Vision” and “Class 1” awards to the winners
- (B) Making an introductory speech before the awards dinner
- (C) Accepting an award on behalf of the Norton Baker Company
- (D) Asking for a vote from the business professionals

ポイント 発話者が awards dinner の司会者 (MC) であることがわかっていればよい。間違えてはいけないのは、賞と受賞者の紹介であって presenting (賞を与える) の行為だと勘違いしてはならない。

大まかな情報を求める設問。

78. Who is James Chan?

- (A) Cost Manager for the Norton Baker Company
- (B) The speaker
- (C) An employee of Hyper Software
- (D) An executive from Controller

ポイント James Chan の名前を記憶していて、司会者の紹介で James Chan という人物が何者であるかを関係付けられればよい。細かい情報を求める設問。

79. What has Mr. Chan NOT received as a reward?

- (A) A new office
- (B) A promotion
- (C) A company car
- (D) A bonus

ポイント さらに、Chan 氏が授賞によって与えられる特典を尋ねている。答えは、特典とまらないものを求めればよい。こうした細かい情報を求める設問は多い。羅列されるものが記憶の中で整理されていないと、答えるのはむずかしい。また、このような場合、設問の先読みをしておかないと注意が散漫になり、整理ができないまま聞き逃す場合が多い。

PART 5

〔制限時間 1分20秒〕最初に選択肢を見て、空所の文法環境を見て判断、単語の使い分けにも注意しましょう。和訳は不要。**ポイント** をまず読んでください。解答に到る考え方がわかります。

109. His job requires him to be ----- the phone 8 hours a day.

- (A) in
- (B) to
- (C) at
- (D) on

ポイント 選択肢を見ると前置詞を選ぶ問題。in は「内部」、to は「到達点」、at は「場所（一点）」、on は「接点、接触」。「位置関係」を持つ前置詞。電話と人間はどのような位置関係か。

110. We received ----- many requests for the new item that we could not keep up with production.

- (A) so
- (B) too
- (C) very
- (D) enough

ポイント 選択肢を見る。many を修飾する副詞としてどれも正解になりそうだが、さらに読み進むと、入るべき語はあとに出て来る that と一緒に用いて初めて意味が生まれる。----- に入る語はのちに関係代名詞ではない（という理由づけも必要）that が来ることを指示する“先行信号”だと考える。こうした語と語の関係に注意しながら読む習慣を作る。

111. By noon, they already ----- to a decision.

- (A) came
- (B) had come
- (C) coming
- (D) were coming

ポイント 選択肢を見る。時制を問うている。手がかりとなる By noon で示される時間帯までに、already によって動作の完了があったことが示唆される。

112. He still is ----- about taking the job.

- (A) indecisively
- (B) indecisiveness
- (C) indecision
- (D) undecided

ポイント 選択肢を見る。同じ語の語形（品詞）を問う問題である。主語の“状態”を表しているので叙述用法の形容詞を選ぶ。どの選択肢が形容詞形か。

PART 6

【制限時間 2分】この PART は、複数文からなるひとまとまりの内容や用件を伝える文章で、文と文の間に関連性、すなわち文脈、があります。文脈が途絶えると内容が伝わりにくくなります。文脈を作るためには、1文1文が正しい構造でなくてはなりません。そのためどの語や語句を選ぶことになるかもこの PART は問いかけます。

ポイント を参考にしながら答えてください。

Questions 145-148 refer to the following notice.

March 1, 2005
From: The Committee
To: All members

We _____ to inform all members of the club that tennis courts A and B will

145. (A) regret
(B) sorry
(C) refuse
(D) unhappy

be closed for repair from March 18th. As many of you know, the surface of the courts deteriorated _____ of the heavy snow last winter.

146. (A) due
(B) result
(C) because
(D) owing

This _____ them dangerous and very difficult to play on.

147. (A) made
(B) to make
(C) make
(D) making

We are planning to have the courts completely resurfaced. The work is scheduled to _____ by April 10th. We apologize for this temporary

148. (A) complete
(B) be completed
(C) completing
(D) being completed

inconvenience, but hope you will understand that we took the decision in the interests of safety, and to provide our members with the best possible facilities.

ポイント 145. We _____ to inform all the members ... that まで読んだ限りでは、ここには動詞をいれなければならぬ。動詞を候補に残して、少し先まで読むと、「AコートとBコートを修復のために閉鎖する」という。使う人には不便をかけることに対して……、答えは〔 〕。

146. **deteriorated** の意味はわかっているか—「だめになった」。その理由がすぐ後に述べられる。_____ of から判断すると、理由を表す決まり文句が正解となる。

147. この文構造は、This (not only) _____ them **difficult** and very **dangerous** (to play on)。つまり、選択肢からも分かるとおりのこの文の動詞を尋ねている。主語は This であることを考えると、正しい形は〔 〕であることがわかる。

148. **be scheduled to (do)** は「予定では……することになっている」ということ。問題は (do) に入るべき正しい動詞の形を尋ねている。The work (主語) は「仕上げる」のか「仕上げられる」のかの区別を求めている。

PART 7

〔制限時間 10分〕この PART では速読力（スキム (skim)：何が書かれているか大筋をつかむためにさっと読む、スキャン (scan)：必要とする情報を探しながらさっと読む）が求められます。その速読力で、1つの読解問題の文章に4つ設問があったら、文章を読み解答するのに、4分に対応する練習をしてください。その速さで対応して進んで行かなければ、手付かずの問題を多数残しながらテストの終わりの時間が来てしまいます。この速さですから全文和訳をしている暇もありません。左から右へ目を移動させながら、意味の区切れを探し、区切れごとに意味を取る練習をしてください。和訳に慣れた学習者には大変苦しい練習ですが、TOEIC®テストに立ち向かう以上その練習を怠るわけには行きません。

ポイント を読んで、それを参考に答え方を練習してください。

Questions 157-160 refer to the following article.

Focus On: Switzerland

If you're looking for a central European location with easy access times, luxury hotels and state-of-the-art conference facilities, why not consider Switzerland?

With flying times around one hour and ten minutes from the UK, and with over 70 flights a day from all of the major UK airports, Switzerland is certainly accessible. Also, if people are flying to your conference from around the globe, the national airline flies direct to 70 countries, and Switzerland's position in central Europe allows easy access by road and rail.

Although a small country with a population around the same as London, Switzerland offers a unique diversity of food, culture, mentality and scenery. Each area takes its influence from one of its four bordering neighbors — from the Germanic ambience of the northern cities of Basel and Zurich to the more Mediterranean feel of Ticino and Valais in the south.

As distances in the country are small, it's possible to be in the mountains in the morning, and take a boat cruise on the lakes in the afternoon. Also, the closeness of so many neighboring countries allows conference delegates staying in Basel to visit three countries in one day. It's also very easy to get around.

Geneva is one of Switzerland's most popular destinations due to its numerous facilities and its breathtaking scenery and setting. The city also offers a wide range of facilities, with more than 60 conference hotels and 20 conference centers.

157. What is the main purpose of this article?

- (A) To attract tourists to Switzerland.
- (B) To describe the geography of Switzerland
- (C) To persuade companies to hold conferences in Switzerland.
- (D) To explain Switzerland's travel industry.

ポイント 典型的な設問。文書の話題（トピック）は冒頭にある。話題の提示がなければ話の展開は不可能である。であれば、第1段落は参考になる。もし、この程度の長さの文章でも、まず読み通してから答えるのが苦手なら、この設問から読んでみよう。設問の設定の仕方から冒頭に大きなヒントがあることがわかる。以下の設問の解答情報を検索しながら読み進むうちに、この設問の解答の確信が高まる。

158. Which advantage of Switzerland is mentioned?

- (A) Prices are low.
- (B) It is easy to get to.
- (C) Most people speak English.
- (D) It has a warm climate.

ポイント 設問は必ずしも全文全体から均等にばらついて出されることはない。要は要求されている情報を適切なところから求めることにある。冒頭で、with easy access times が目に留まれば、選択肢の中に同じ意味の表現がある⇒ []。このように、課題文の中の表現が設問や選択肢の中で言い換えられることが頻繁に起こる。また、設問にもadvantage や mentioned など少しむずかしそうな単語が頻出する。

159. How does the article describe Switzerland?

- (A) Varied
- (B) Old-fashioned
- (C) Large
- (D) Friendly

ポイント describe の意味は？（「のことを説明する」）ぜひ覚えておくべき単語。設問を理解したら、選択肢を読む。課題文を読んだのち設問に取組む学習者なら、よく似た表現が課題文中にあったことを覚えているかも知れない。いきなり設問から読んで情報を探そうという学習者は、4つの選択肢を念頭に置いて課題文をスキャンしなければならない。第3段落にある、Switzerland offers a unique variety of ... に目が留まれば正解は目前にある。

160. Why is Basel a good destination for international business visitors?

- (A) It is very close to three other countries.
- (B) It is very beautiful.
- (C) It has many hotels and conference centers.
- (D) People there speak German.

ポイント Basel（バーゼル）のことが記述（describe）されているのは、第3段落目と第4段落目である。設問文がきちんと理解されているなら——destination という単語の意味がわかればこの設問はやさしい——第4段落目を読めば、allows conference delegates staying in Basel to visit three countries in one day. という設問にかなう記述が見出される。allow（目的語）to do ... 「……することを許す、できる」は決まった表現。

ここまでが、ポイントで示したようなことを考慮して、4分程度で解答することになる。

これからは、2文書をもとにして解答する。設問が2文書にわたる場合とそうでない場合がある。

Questions 186-190 refer to the following two e-mail messages.

From: Gary Fulton
To: Paul Henry
Subject: Can you give me some advice?

Dear Paul,

How have you been? Mary and I are still working hard, but now that the kids are both married and settled down, we've been thinking of taking things a bit easier, and this is why I'm writing to you. One thing we'd both really like to do is to buy a second house somewhere overseas. At first, we plan to visit two or three times a year for short vacations, but if we like it enough, we might even live there permanently once we retire. I know you've had your second house in France for a long time now, and I was wondering if you could give us some basic advice. I'm sure there are many problems we haven't considered yet, and we would certainly like to avoid as much trouble as possible.

If you're not too busy, I'd be really grateful if you could reply with some words of advice.

Best wishes,

Gary

From: Paul Henry
To: Gary Fulton
Subject: Re: Can you give me some advice?

Dear Gary,

Great to hear from you. I was very happy to hear that you're thinking of slowing down your busy lifestyle and looking for a second house. I've had my place in France for more than ten years now, and I think that buying it was one of the best decisions I ever made. However, you have to be very careful when buying real estate in a foreign country.

First of all, you have to make sure that you're allowed to stay in that place. In the USA, for example, you can buy a property but you can only stay there for six months a year. As you're British, you'll have no problem living and working in other EU countries, but you won't be able to retire in those countries unless you can prove you have sufficient funds.

You should also think very carefully about how you want to use the house. Will it be for long summer vacations or for both summer and winter visits? If it's too far away, you won't be able to go for weekend visits. And what happens when you're not living there? If you want to rent the house, you'll have to find tenants. You may also need to find someone to look after it when you're away.

And don't forget about language problems. I know English is very widely spoken around the world, but this is not always true outside cities. The language barrier might be a problem if you're living in a village in the countryside, so choose a country whose language you can already speak, or where it's not too hard to learn.

Anyway, I hope this information helps you. Please feel free to get in touch any time if you have any more questions.

All the best,

Paul

186. What does Gary want to do?

- (A) Quit his job
- (B) Visit his children overseas
- (C) Buy a vacation home
- (D) Sell his house

187. How many children does Gary have?

- (A) None
- (B) One
- (C) Two
- (D) Three

188. What does Paul tell Gary about choosing an EU country?

- (A) He can live there whenever he likes.
- (B) He can live there but not work there.
- (C) He can live there for only half the year.
- (D) He can live there permanently if he has enough money.

189. What does Paul say is the problem about having a house too far away?

- (A) It is more expensive.
- (B) It is inconvenient.
- (C) It is difficult to rent.
- (D) It is difficult to look after.

190. What advice does Paul give Gary about the language problem?

- (A) He should be able to speak some of the local language.
- (B) He should live in a country where English is spoken.
- (C) He should live in the city, not the countryside.
- (D) He should start learning a foreign language immediately.

ポイント 186. 第1の通信文からの設問——Garyの要望が述べられている。初めから課題文を読まない学習者は、第1通信文をスキャンする。メールには Subject; Re (メールの場合は返信) と記されている欄がある。どちらも話題・用件を述べる欄で、通信文の内容を端的に推察することができる。あいさつがあり、近況報告があり、そして用件というのは、メールでなくても手紙文の普通の書き方。用件のところへ目を走らせる。3-4行目にヒットできればよい。

187. これも Gary の通信文の中からの設問。1-2行目に the kids are both married ... とある。both がいくつのことを言うのかはすぐにわかるはず。

188. 設問文に does Paul tell とあるので、第2の Paul からの通信文をスキャンする。EUを探す。第2段落目の最後の長い文に答えが現れる。

189. この設問も Paul の通信文から求められる。Paul は You should also think very carefully ... と表現しているが、これが設問では、problem だと考えられる。先をスキャンすると、If it's too far away という設問と同じ表現があり、条件 if が真ならば、you won't be able to go for weekend visits. という problem が提示されている。これは選択肢ではどれに当たるのだろうか。

190. これも Paul の通信文だけで片付く。第4段落目に、lanaguage problems とある。Paul の advice は、choose a country whose language you can already speak, or where it's not too hard to learn. である。